

男性介護者の集い 男性介護ネットひだまり つどい報告書

＜男性介護者と支援者の全国ネットワーク＞

開催日時	令和 5年 6月 2日 (金曜日) 午後 1時 30分～3時 30分	
開催場所	神戸町中央公民館 学習室-2	報告者：若山昌之
参加者	5名 (内訳：介護経験者2名、男性介護者3名)	
<p>報告事項</p> <p>昨日開催の西濃地区世話人会報告 (高木支部長出席)</p> <p>早崎世話人の処遇の件、菅谷世話人亡きあとの神戸部会の現状について</p> <p>その他、当座の行事予定として</p> <p>西濃地区リフレッシュ交流会開催 (参加の呼びかけ)</p> <p>7月22日(土) 13:30時～ 奥の細道むすびの地記念館於</p> <p>○ 要介護-4の奥さんを抱えるAさん、デイケア通所先から、最近排尿が濁って嫌な臭いを感じるとの連絡を受け、早速かかりつけ医に出向き症状を伝え指示を仰いだ。まずは、尿検査を実施するとの事。自宅で尿の採取を試みるも上手くいかず、通所先をお願いし何とか採取に成功した。(自宅での排泄は全てリハパンで便座で排尿することは殆どない)</p> <p>検査の結果は、膀胱炎と診断され抗生物質を当面朝夕服用し、その後に再検査を行うとの事。尿採取に手こずり困り切っていた処を通所先に助けられた。介護は一人で悩まず回りに助けを求めることも必要な事である。</p> <p>この間、本人は一度も受診することなくAさんが全て対応に当たり快方に向かいつつあり、かかりつけ医との信頼関係の重要性を改めて痛感させられた。</p> <p>○ 介護経験者Bさんから、認知症は加齢と共に誰もが罹り得る老化現象で、治らない障害、治らない病気で、治そうとすると介護する人される人双方が焦り苦しみ進行を早めることに繋がる。故に、進行過程の症状を全て受け入れる事が大切である。何とか治そうと思わず、治らないことを受け入れることである。そうすると自然と不安から脱し、成るようにしかならないと割り切れ受容の境地になるものだと話される。</p> <p>次回開催予定 7月 7日 (金曜日) 午前 1時 30分～ 凡そ 2時間 場 所：神戸町中央公民館 学習室-2</p>		

(つどい報告書 FAX : 2023/06/06)